

平成27年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	加藤
	全体計画			経費区分	-	内線	3134
事務事業名	10858 ふるさと再発見・発信事業						
所 属	050200 総務部・政策推進課						
施 策	07024400 地域コミュニティの活性化						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	020114 総務費・総務管理費・地域振興費					
	事業	960000 ふるさと再発見・発信事業					
事業目的				事業概要・効果			
地域公民館等と連携するとともに地域住民との共創により、地域内の埋もれた資源を発掘し、ふるさとの魅力を「絵地図」として表現、活用することによって、農業や観光など地域の活性化を図る。				絵地図の作成を通して、新たな観光資源、埋もれた観光資源等を発掘することにより、地域の魅力の向上を図る。 地域住民が、住んでいる地域の魅力を知ることにより、地域への愛着がますます深まり、地域の活性化につながる。			

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
-	-
平成24年度 実績	平成25年度 実績
-	地域発・元気づくり支援金を活用し、「信州須坂ふるさと探訪絵地図（マップ）ー須坂市豊丘地域編ー」を1万部作成した。地域住民によるワークショップの開催、取材等を通じ、新たな観光資源や地域の魅力を知ることができた。
平成26年度 実績	平成27年度 予定
地域発・元気づくり支援金を活用し、「信州須坂ふるさと探訪絵地図（マップ）ー須坂市仁礼地域編ー」を1万部作成した。前年の取組を参考にしながらワークショップの開催、取材等を通じ、仁礼地域の新たな観光資源や地域の魅力を知ることができた。	27年度は、移住交流支援事業として、地域おこし協力隊、集落“再熱”実施モデル地区支援事業と合わせて豊洲地域で絵地図作成を実施する。

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		3,464	0
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	2,597	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		867	0
人員数(人)	正規職員	0.1	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	685.8	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	685.8	0.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.0
総額		4,149.8	0.0

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	8	消耗品費
13節 委託費	3,456	絵地図作成事業委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	地図作成の過程で地域住民が主体となりワークショップを行ったり、地域を取材する中で、自分の住んでいる地域の再発見をするとともにこれまで以上に地域に愛着をわく取組となった。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	峰の原高原のペンションや温泉施設へ作成したマップを配布し、それを手に取り見ながら地区内を周遊していただくことにより、地域の自然や住民魅力を発信し、交流人口、定住人口の増加が図れる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	県支出金（3/4）の活用を図っている	

振り返り（決算年度の取組み課題）

地域の方々が参加し、日頃は見担過ごされているような小さな素材も含めて未活用の資源を発掘することにより、仁礼地域の魅力の再発見につなげ、面的に楽しめるふるさと探訪マップを作成することができた。マスコミによる宣伝効果と併せ、峰の原高原のペンションをはじめ観光施設等にマップを配布することにより、仁礼地域の注目度は向上したが、今後、人口増加にどうつなげていくかが課題となる。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>地域住民をはじめ、多くの市民の皆さんが当該地域を再認識、再発見する契機となる取組みとして継続する。なお、県の支援金が3年を目途としていることから、28年度以降については検討する。</p>		<p>仁礼地域の方が、地域のよさを発見、地域の魅力を発信する絵地図を作成、市内外に誇れるものとなった。峰の原高原の再熱事業と合わせ、更に須坂市全域を知ってもらえる取り組みが必要がある。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	